

専門・認定看護師会ニュースレター Vol.17

テーマ…

みえる呼吸で異常の早期発見

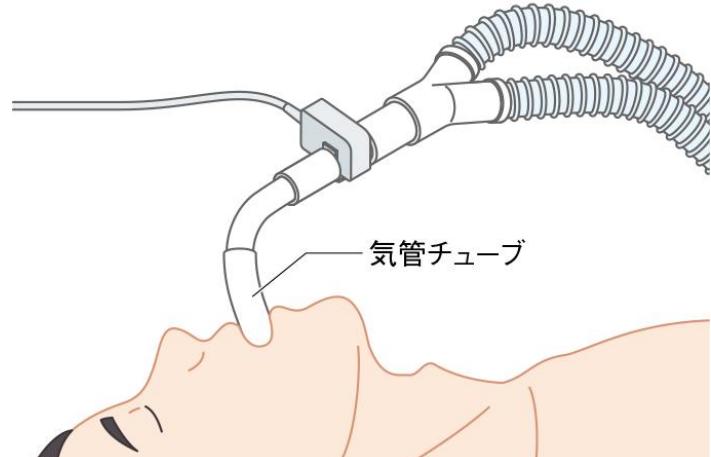
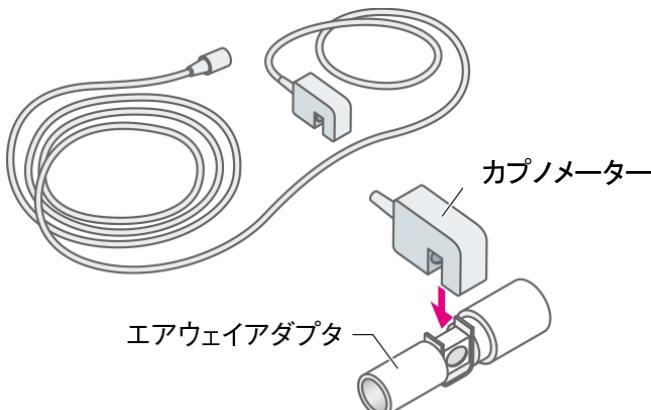
カプノメーターについて



カプノメーターとは

気管チューブや気切チューブなどに接続することで呼気中のCO₂を計測する機械のことです。CO₂を視覚的にモニタリングすることで**異常の早期発見**に役立ちます！

呼気終末二酸化炭素のことをEtCO₂と言います



EtCO₂で何がわかる？

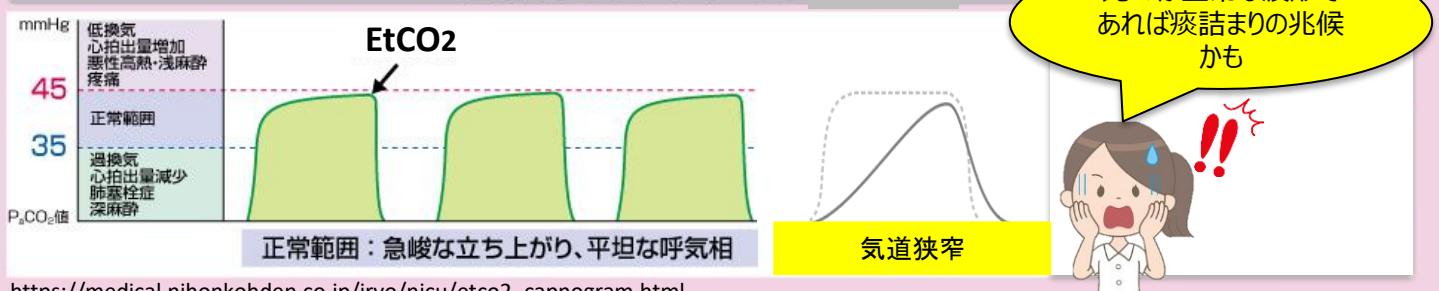
□CO₂の量

- 35mmHg未満 : 頻呼吸（過換気）、気管チューブの閉塞、呼吸器のリークなど
- 35~45mmHg : 正常範囲内
- 45mmHg以上 : 換気量低下（閉塞性肺疾患、低換気・設定換気量の不足）
CO₂産生増加（発熱、痙攣など）など

※EtCO₂はPaCO₂より5 mmHg程度低い

EtCO₂（終末呼気炭酸ガス分圧）と代表的なカプノグラム

正常なカプノグラムと EtCO₂



補足…

- 院内の人工呼吸器には全てカプノメーターが装着可能
- 採血をしなくてもCO₂がわかる
- 患者に負担は一切なし
- 診療報酬に組み込まれている
- 使用時には経過表にEtCO₂を記録して変化がわかるようにすること

CO₂など気になる患者さんがいればCEへ連絡してみましょう！



集中ケア認定看護師
ICU/CCU
西本陽介